

伊予市環境基本計画 令和6年度進捗状況報告

1. 伊予市環境基本計画について

「伊予市環境基本計画」は、伊予市環境基本条例第9条に基づき、同条例で定める環境の保全等の理念の実現を図るため、基本的な施策を総合的かつ計画的に実施することを目的としています。伊予市環境基本計画では、伊予市の目指す環境像の実現のため、各種の基本施策を掲げています。基本施策に基づく成果目標を数値化することにより、進捗状況の把握を容易にし、その結果を踏まえて、事業計画等の更新を検討していきます。

2. 計画の期間

令和5(2023)年度から令和14(2032)年度までの10年間としています。

また、計画期間中は、社会状況や環境変化に応じて、適宜計画の見直しを検討します。

3. 環境基本計画の具体的な展開

本計画では、伊予市の将来環境像「未来につなぐ 環境に優しい持続可能なまち 伊予」の実現に向け、4つの環境目標それぞれに施策の方向性を設定し、具体的な施策を定めています。

そして、本計画の実効性を高めるため、毎年度、計画の進行管理を行い、施策の成果指標および環境施策について点検・評価を行うこととします。

◆計画の施策体系

将来環境像	環境目標	施策の方向性
未来につなぐ 環境に優しい 持続可能なまち 伊予	環境目標 1 住み続けたいくなる快適な 生活環境が守られるまち	①安心・安全な環境づくりの推進
		②持続可能な魅力ある環境資源の活用
		③魅力ある景観の保全
	環境目標 2 自然環境が持続可能な利用で 守られるまち	①豊かな緑と安らぎの水辺環境の保全・創造
		②生物多様性の保全と持続可能な利用
	環境目標 3 環境にやさしい暮らし方が 続けられるまち	①再生可能エネルギーの創出
		②省エネルギー対策の推進
		③低炭素まちづくりの推進
		④循環型社会形成の推進
		⑤気候変動への適応策
	環境目標 4 環境教育や環境行動が 日常にあるまち	①環境学習メニューの充実
		②環境保全活動の活性化支援

4. 成果指標の達成状況

成果指標の進捗状況については、関係各課の取組および実績値を求め、計画策定時の現況値や計画目標値と比較しました。

環境目標1 住み続けたいくなる快適な生活環境が守られるまち

①安心・安全な環境づくりの推進

- 大気、水質、騒音・振動等の監視
- 河川・海の水質保全

【主な取組】

- 年1回河川・湖沼(15箇所)、海域(2箇所)の測定地点において水質検査を実施した。【環境政策課】
- 市民からの苦情等を受け、現場を確認し対象事業者等に指導等を行った。(8件)【環境政策課】
- 合併浄化槽への補助金の実施【上下水道課】

②持続可能な魅力ある環境資源の活用

- ワークーション等の推進
- 持続可能な観光の推進

【主な取組】

- 東京都港区と連携し、本市の自然の豊かさを満喫していただくプログラムを作成・周知し、港区内企業(3社)のワークーションの受入れを実施した。【地域創生課】
- 市民及び企業とのつながりを創出するワークーションプログラムとし、参加企業から本市の自然の豊かさ・暮らしやすさを評価いただくことで、受け入れた市民及び企業が本市の魅力を再認識する場づくりとなった。【地域創生課】
- モバイルルーターにより、施設や場所にこだわらないテレワーク環境を提供した。【地域創生課】
- 新たに作製した観光パンフレットにて、公共交通を使ったアクセス方法を紹介した。また、植樹体験や漁港見学等を盛り込んだモニターツアーを民間事業者と共同で実施した。【商工観光課】

③魅力ある景観の保全

- 文化財の保全
- 豊かな景観形成と緑化の推進

【主な取組】

- 県指定史跡「市場かわらがはな古代窯跡群」の清掃を実施した。【社会教育課】
- 市指定史跡「雲居国師生誕地」および「池ノ久保土山地蔵の石垣」の文化財説明看板を修繕・新規設置した。【社会教育課】
- 未指定文化財「市場南組窯跡群」の学術調査(第10次調査)を愛媛大学との共催で実施した。【社会教育課】
- 景観計画区域内での建築物や工作物の新・増・改築等の行為に対して、事前協議・届出を求め、行為制限(景観形成)基準に沿った建築行為等となっているか確認を行った。【都市整備課】

【成果指標】

成果指標	基準年度 令和3年度	今回 令和6年度	目標値 (令和14年度)	評価
污水处理人口普及率	80.1% (令和3年度)	81.0% (令和5年度)	89.3%	○
グリーン・ツーリズムの 利用者数	10,319人/年 (令和3年度)	21,929人/年 (令和5年度)	現状以上	◎
文化財に関する体験講座・ 講演会の開催数	2回 (令和3年度)	5回 (令和5年度)	現状以上	◎

※評価基準 ◎:目標値を達成している ○:目標値に近づいている △:目標値に近づいていない

環境目標2 自然環境が持続可能な利用で守られるまち

①豊かな緑と安らぎの水辺環境の保全・創造

- 森林や河川、海など自然環境の保全
- 里地里山の積極的な管理
- 農林水産業との共存

【主な取組】

- 森林環境譲与税を活用し、森林 17ha の保育間伐を実施した。【農林水産課】
- 市民(団体)が実施するボランティア清掃の活動支援として、ごみ袋の配布、ごみの回収を行った。【環境政策課】
- 県と協働で「愛ロード・愛リバー・愛ビーチ」の制度の周知、参加団体登録、活動支援を行うことで、地域住民と行政が協力して、快適で美しい環境づくりに努めた。【土木管理課】
- 「里山林の保全」、「竹林整備」、「森林資源の利活用」等の取組みを行う2団体に、活動費用の約 100 分の 25 を補助し、森林及び山村の活性化を図る。【農林水産課】
- 上灘漁協、下灘漁協にて各 1 回、産業廃棄物処理費用の 10 分の 4 を補助した。【農林水産課】
- 水産物の食生活における重要性を見直し魚の消費拡大を目的とした料理講習会を実施した。【農林水産課】
- 環境保全効果の高い営農を営む団体への支援を実施した。
・取組団体数:3 団体 ・対象活動:有機農業 ・取組面積:1,672ha 【農業振興課】

②生物多様性の保全と持続可能な利用

- 外来生物防除、野生動物との共生
- 多様な生態系の保全
- 生物多様性に関する普及啓発

【主な取組】

- 県開催の研修に参加し、新種の外来生物に関する情報収集を行った。【環境政策課】
- 鳥獣捕獲による個体数調整を行う猟友会への支援及び各種農業被害予防対策への支援を実施した。
・鳥獣被害防止総合対策事業
箱わな(大 13 基、小 7 基)、講習会補助 2 名、捕獲数 1,420 頭
・鳥獣害防止施設整備事業
電気柵 24 台、ワイヤーメッシュ 2,943 枚、小動物用電気ネット 1 台
・有害鳥獣捕獲隊等育成事業 資格維持支援事業 98 人
・有害鳥獣総合捕獲事業 捕獲数 1,145 頭 【農業振興課】
- 県営ため池改修事業に際し周辺の植物や生物の調査を実施した。【農林水産課】
- 生息・生育環境の保全を含む環境教室を開催した。【環境政策課】

【成果指標】

成果指標	基準年度 令和3年度	今回 令和6年度	目標値 (令和14年度)	評価
年間間伐面積	91ha/年 (令和3年度)	93ha/年 (令和5年度)	180ha/年	○
経営耕地面積	1,373ha (令和3年度)	1,373ha (令和3年度)	1,236ha を下回らないこと	◎
生物多様性関連の イベントの開催回数	1回 (令和3年度)	0回 (令和5年度)	3回	△
伊予市産食材の学校 給食への使用率	25.9% (令和3年度)	27.2% (令和5年度)	30%	○
愛ロード、愛リバー、 愛ビーチ活動の実施数	愛ロード:7回 愛リバー:10回 愛ビーチ:13回 (令和3年度)	愛ロード:14回 愛リバー:20回 愛ビーチ:8回 (令和5年度)	現状以上	◎

※評価基準 ◎:目標値を達成している ○:目標値に近づいている △:目標値に近づいていない

環境目標3 環境にやさしい暮らし方が続けられるまち

①再生可能エネルギーの創出

- 再生可能エネルギーの導入促進
- 自立・分散型エネルギー社会の形成推進

【主な取組】

- 本庁舎へ太陽光発電設備及び蓄電池を設置した。【環境政策課】
- 市民向けの蓄電池・V2Hの補助金を実施した。(45件)【環境政策課】

②省エネルギー対策の推進

- 建物・住宅におけるZEB・ZEH等の普及促進
- 産業部門における省エネルギー行動の推進

【主な取組】

- 公共施設の太陽光発電設備等の導入可能性調査を実施、結果を基に公共施設への太陽光パネル及び再エネ設備の導入を進める。【環境政策課】
- 個人住宅向けのZEH補助金の新設を検討、令和6年度より実施した。(10件)【環境政策課】

③低炭素まちづくりの推進

- 運輸部門のカーボンニュートラル化推進
- 効率的なまちづくりの推進

【主な取組】

- 市民・事業者向けの電気自動車補助金を実施した。(20件)【環境政策課】
- 自動運転バスのレベル4運行の導入可能性を検証するため、実証事業を実施した。【企画政策課】
- 公共施設への充電設備の設置を進めた。(本庁舎3基)【環境政策課】
- 公用車の更新に伴い、電気自動車を導入した。【健康増進課】

④循環型社会形成の推進

- 循環型社会の構築
- 廃棄物の適正処理の推進

【主な取組】

- 10月の食品ロス削減月間にあわせ、広報誌に食品ロスに関する記事を掲載し周知を行った。【環境政策課】
- 「おいしい食べきり運動推進店」についてHPや広報紙にて募集や店舗の紹介を行った。【環境政策課】
- 地域住民を対象に廃棄物や資源循環に関する環境教室を開催した。【環境政策課】
- 松山ブロックごみ処理広域化基本計画に基づき、ごみ処理広域化の検討を進めている。【環境政策課】
- 粗大ごみの収集依頼方法に電子申請を追加した。【環境政策課】
- 不法投棄パトロールを実施した。(58回)【環境政策課】
- 「事業系廃棄物適正処理の手引き」を作成し、ホームページに公開した。【環境政策課】
- プラスチック系廃棄物の回収処理事業を行うJAえひめ中央に対する支援を実施した。
・回収処理実績:400件 64.35t及び4m³(発砲スチロール)【農業振興課】
- 小学生を対象に海洋プラスチックごみに関する環境教室を開催した。【環境政策課】

⑤気候変動への適応策

➤ 気候変動への適応策の検討

【主な取組】

- 年1回河川・湖沼(15箇所)、海域(2箇所)の測定地点において水質検査を実施した。【環境政策課】
- 市内における特定外来生物等の現場確認を実施した。【環境政策課】
- 土砂災害警戒区域、重要水防箇所について、関係機関とパトロールを実施した。【土木管理課】
- 土砂災害特別警戒区域及び防災行政無線難聴区域において、必要に応じ戸別受信機等の新設・取替等を実施し、市内全域での防災情報の円滑かつ確実な伝達の維持を図ることで、防災・減災対策に資することができた。【危機管理課】
- 市公式ホームページにより熱中症予防の注意喚起を行うとともに国・県等へのリンクを掲示して情報提供を行っている。【健康増進課】
- ヒトスジシマカの媒介によるデング熱等感染症予防に関する情報を提供して市民への周知を図っている。【健康増進課】
- 防災中枢機能を果たす防災備蓄倉庫へ備蓄物資・食料等の補充を備蓄計画に基づき適正に実施した。【危機管理課】

【成果指標】

成果指標	基準年度 令和3年度	今回 令和6年度	目標値 (令和14年度)	評価
市域の温室効果ガス排出量	196.4千t-CO ₂ (令和元年度)	214.5千t-CO ₂ (令和3年度)	101.3千t-CO ₂	△
市域のエネルギー消費量	2,744TJ (令和元年度)	2,807TJ (令和3年度)	2,031TJ	△
公用車の次世代自動車導入台数割合	0% (令和3年度)	2% (令和5年度)	20%	○
市民一人1日当たりのごみ排出量	831g/人日 (令和2年度)	683g/人日 (令和5年度)	750g/人日	◎
ごみのリサイクル率	13.8% (令和2年度)	19.7% (令和5年度)	25%	○
デマンドタクシー利用者数	4,384人/年 (令和3年度)	4,188人/年 (令和5年度)	6,500人/年	△
コミュニティバス利用者数	10,070人/年 (令和3年度)	14,118人/年 (令和5年度)	10,000人/年	◎

※評価基準 ◎:目標値を達成している ○:目標値に近づいている △:目標値に近づいていない

環境目標4 環境教育や環境行動が日常にあるまち

①環境学習メニューの充実

- 学校、地域等における環境学習の推進
- 環境情報の発信と共有

【主な取組】

- 学校・公民館活動での環境教室(計3回)、夏休み環境教室(計2回)、事業所主催のボランティア清掃事業への協力を実施した。【環境政策課】
- 市HP、広報、SNS等を活用し環境情報の発信を行った。必要な情報が対象者により届きやすいように進める。【環境政策課】

②環境保全活動の活性化支援

- 人材育成の推進
- 活動支援制度の充実

【主な取組】

- 県が実施する環境教育事業や活動支援について市ホームページにリンクを掲示し情報提供を行った。【環境政策課】

【成果指標】

成果指標	基準年度 令和3年度	今回 令和6年度	目標値 (令和14年度)	評価
環境教室の開催数	2回 (令和3年度)	5回 (令和5年度)	5回	◎
環境関連団体数	52団体 (令和3年度)	42団体 (令和5年度)	現状以上	△
環境関連団体参加 市民数	509名 (令和3年度)	2267名 (令和5年度)	現状以上	◎

※評価基準 ◎:目標値を達成している ○:目標値に近づいている △:目標値に近づいていない